

(報告様式1)

令和 年 月 日

## 放牧酪農牛乳生産状況報告書

一般社団法人 日本草地畜産種子協会  
会 長 殿

牧場(事業所)名

所在地

代表者氏名

⑩

「放牧畜産基準認証要領」第10の1の規定に基づき、下記のとおり令和〇年度の生産状況を報告します。

### 記

#### 1. 放牧酪農牛乳生産基準認証番号

#### 2. 生産状況

##### (1) 原乳生産者と生産実績

(原乳生産者ごとの状況を記載する。)

牧場名	代表者名	放牧畜産実践牧場認証番号	年間生乳生産量(t)	年間生乳出荷量(t)
			(合計)	(合計)

##### (2) プラントにおける放牧酪農牛乳の処理・製造状況

項目	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	年合計
1. 生乳受入量(t)												
2. 牛乳製造量(t)												
3. 牛乳出荷量(t)												
4. 出荷パッケージ数 (マーク使用点数*)												

注) 1は(1)の放牧畜産実践牧場からの生乳受入量、2,3,4はこのうち放牧酪農牛乳としての製造量、出荷量及び出荷パッケージ数を記載する。

\* 「放牧酪農牛乳生産基準」認証マークの使用許諾を受けて使用した実績を記載する。

#### 3. その他の報告事項

(注) 製造委託を行う場合は、当該部分については受託者が記載し、その内容を申請者(委託者)が確認すること。

(報告様式2)

令和 年 月 日

放牧酪農乳製品生産状況報告書

一般社団法人 日本草地畜産種子協会  
会 長 殿

牧場(事業所)名  
所在地  
代表者氏名 ⑩

「放牧畜産基準認証要領」第10の1の規定に基づき、下記のとおり令和〇年度の生産状況を報告します。

記

1. 放牧酪農乳製品生産基準認証番号
2. 乳製品の種類
3. 生産状況

(1) 原乳生産者と生産実績  
(原乳生産者ごとの状況を記載する。)

牧場名	代表者名	放牧畜産実践牧場認証番号	年間生乳生産量(t)	年間生乳出荷量(t)
			(合計)	(合計)

(2) プラントにおける放牧酪農乳製品の処理・製造状況

項目	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	年合計
1. 生乳受入量(t)												
2. 製品製造量(t)												
3. 製品出荷量(t)												
4. 出荷パッケージ数 (マーク使用点数*)												

注) 1は(1)の放牧畜産実践牧場からの生乳受入量、2,3,4はこのうち放牧酪農乳製品としての製造量、出荷量及び出荷パッケージ数を記載する。(製造量及び出荷量については、牛乳換算量でも可とする)

\* 「放牧酪農乳製品生産基準」認証マークの使用許諾を受けて使用した実績を記載する。

4. その他の報告事項

(注) 製造委託を行う場合は、当該部分については受託者が記載し、その内容を申請者(委託者)が確認すること。

(報告様式3)

令和 年 月 日

放牧牛乳生産状況報告書

一般社団法人 日本草地畜産種子協会  
会 長 殿

牧場(事業所)名

所在地

代表者氏名

印

「放牧畜産基準認証要領」第10の1の規定に基づき、下記のとおり令和〇年度の生産状況及び今年度の生産予定について報告します。

記

1. 放牧牛乳生産基準認証番号

2. 生産状況

(1) 原乳生産者と放牧実施期間及び生産実績 (原乳生産者ごとの状況を記載する。)

牧場名	代表者名	放牧畜産実践 牧場認証番号	放牧実施期間 年月日～年月日	放牧日数	搾乳日数	年間生乳 生産量(t)	年間生乳 出荷量(t)
						(合計)	(合計)

(2) プラントにおける放牧牛乳の処理・製造状況 (期間： 月 日～ 月 日)\*\*

項 目	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	年合計
1. 生乳受入量(t)												
2. 牛乳製造量(t)												
3. 牛乳出荷量(t)												
4. 出荷パッケージ数 (マーク使用点数*)												

注) 1は(1)の放牧畜産実践牧場からの生乳受入量、2,3,4はこのうち放牧牛乳としての製造量、出荷量及び出荷パッケージ数を記載する。

\*「放牧牛乳生産基準」認証マークの使用許諾を受けて使用した実績を記載する。

\*\*放牧牛乳の製造期間を記入する。

3. 今年度の放牧実施予定

原乳生産者と放牧実施期間等 (原乳生産者ごとに記載する。)

牧場名	代表者名	放牧畜産実践牧場 認証番号	放牧実施期間 年月日～年月日	放牧日数	搾乳日数

4. その他の報告事項

(注) 製造委託を行う場合は、当該部分については受託者が記載し、その内容を申請者(委託者)が確認すること。

(報告様式4)

令和 年 月 日

放牧乳製品生産状況報告書

一般社団法人 日本草地畜産種子協会  
会 長 殿

牧場(事業所)名  
所在地  
代表者氏名 ⑩

「放牧畜産基準認証要領」第10の1の規定に基づき、下記のとおり令和〇年度の生産状況及び今年度の生産予定について報告します。

記

1. 放牧乳製品生産基準認証番号
2. 乳製品の種類
3. 生産状況  
(1) 原乳生産者と放牧実施期間及び生産実績  
(原乳生産者ごとの状況を記載する。)

牧場名	代表者名	放牧畜産実践 牧場認証番号	放牧実施期間 年月日～年月日	放牧日数	搾乳日数	年間生乳 生産量(t)	年間生乳 出荷量(t)
						(合計)	(合計)

(2) プラントにおける放牧乳製品の処理・製造状況 (期間: 月 日～ 月 日) \*\*

項目	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	年合計
1. 生乳受入量(t)												
2. 製品製造量(t)												
3. 製品出荷量(t)												
4. 出荷パッケージ数 (マーク使用点数*)												

注) 1は(1)の放牧畜産実践牧場からの生乳受入量、2,3,4はこのうち放牧乳製品としての製造量、出荷量及び出荷パッケージ数を記載する。(製造量及び出荷量については、牛乳換算量でも可とする)

\* 「放牧乳製品生産基準」認証マークの使用許諾を受けて使用した実績を記載する。

\*\*放牧乳製品の製造期間を記入する。

4. 今年度の放牧実施予定  
原乳生産者と放牧実施期間等 (原乳生産者ごとに記載する。)

牧場名	代表者名	放牧畜産実践牧場 認証番号	放牧実施期間 年月日～年月日	放牧日数	搾乳日数

5. その他の報告事項

(注) 製造委託を行う場合は、当該部分については受託者が記載し、その内容を申請者 (委託者) が確認すること。

(報告様式5)

令和 年 月 日

## 放牧子牛生産状況報告書

一般社団法人 日本草地畜産種子協会  
会 長 殿

牧場(事業所)名

所在地

代表者氏名

印

「放牧畜産基準認証要領」第10の1の規定に基づき、下記のとおり令和〇年度の生産状況及び今年度の生産予定について報告します。

### 記

1. 生産牧場名  
(放牧畜産実践牧場は認証番号を併記)

2. 放牧子牛生産基準認証番号

3. 生産(出荷)状況

(1) 放牧子牛の頭数

(2) 対象子牛の個体識別番号、放牧期間等の飼養管理データ

個体識別 番号	品種	性別	生年月日	哺育期間		放牧期間		放牧日数	備考※
				生時～	月(日)齢	月	日～月 日		

(注) 哺育期間は各経営体の慣行的な月齢をまとめて記載しても良い。放牧期間は少なくとも3か月(90日)以上とする。放牧期間、放牧日数は個体ごとに記載する。

※自家育成、他の認証牧場からの導入(認証番号を記載)、非認証牧場からの導入別を備考欄に記載する。放牧畜産実践牧場以外からの素牛導入の場合、導入元の牧場名、来歴等について明らかにし、放牧子牛生産基準と同等な飼養管理により育成されたことを証明する書類を添付する。

①家畜の由来、②放牧育成、③舎飼時の飼養管理、④家畜の衛生管理、⑤情報開示

4. 今年度の生産(出荷)予定

(1) 放牧子牛の生産頭数

(2) 対象子牛の個体識別番号、放牧期間等の飼養管理項目

個体識 別番号	品種	性別	生年月日	哺育期間		放牧期間		放牧日数	備考※
				生時～	月(日)齢	月	日～月 日		

(注) 哺育期間は各経営体の慣行的な月齢をまとめて記載しても良い。放牧期間は少なくとも3か月(90日)以上とする。放牧期間、放牧日数は個体ごとに記載する。

※放牧畜産実践牧場以外で生産された放牧子牛にあっては、その旨を備考欄に記載する。

5. その他の報告事項

(報告様式6)

令和 年 月 日

### 放牧肥育牛生産状況報告書

一般社団法人 日本草地畜産種子協会  
会 長 殿

牧場(事業所)名  
所在地  
代表者氏名 ㊞

「放牧畜産基準認証要領」第10の1の規定に基づき、下記のとおり令和〇年度の生産状況及び今年度の生産予定について報告します。

#### 記

- 1. 生産牧場名  
(放牧畜産実践牧場の場合は認証番号を併記)
- 2. 放牧肥育牛生産基準認証番号

- 3. 生産(出荷)状況
  - (1) 放牧肥育牛の生産頭数
  - (2) 対象放牧肥育牛の個体識別番号、肥育期間等の飼養管理項目

個体識別番号	品種	性別	生年月日	放牧子牛生産基準認証番号	肥育期間 開始月齢～終了月齢	粗飼料 給与率(%)	備考※

(注) 飼料給与を牛群全体で管理している場合は、粗飼料給与率は肥育牛群全体での年間給与率を記載しても良い。

※自家育成、他の認証牧場からの導入(牧場名を記載)、非認証牧場からの導入別を備考欄に記載する。

放牧畜産実践牧場以外からの素牛導入の場合、導入元の牧場名、来歴等について明らかにし、放牧子牛生産基準と同等な飼養管理により育成されたことを証明する書類を添付する。

①家畜の由来、②放牧育成、③舎飼時の飼養管理、④家畜の衛生管理、⑤情報開示

- 4. 肥育全期間の月別粗飼料給与量(乾物ベース: kg/日・頭)

	月又は 〇か月齢	月又は 〇か月齢	月又は 〇か月齢	全期間平均
経営内生産粗飼料				
地域内(国産)生産粗飼料				
小計				(A)
その他の粗飼料				
粗飼料計				(B)
濃厚飼料				
その他の飼料				
全給与量				(C)

国産粗飼料給与率 = (A) / (B) %

粗飼料給与率 = (B) / (C) %

- 5. 今年度の生産(出荷)予定
  - (1) 放牧肥育牛の頭数
  - (2) 対象放牧肥育牛の個体識別番号、肥育期間等の飼養管理項目

個体識別番号	品種	性別	生年月日	放牧子牛生産基準認証番号	肥育期間 開始月齢～終了予定月齢	粗飼料 給与率(%)	備考※

- 6. その他の報告事項

(報告様式7)

令和 年 月 日

## 放牧牛肉生産状況報告書

一般社団法人 日本草地畜産種子協会

会 長 殿

牧場(事業所)名

所在地

代表者氏名

印

「放牧畜産基準認証要領」第10の1の規定に基づき、下記のとおり令和〇年度の生産状況及び今年度の生産予定について報告します。

### 記

#### 1. 放牧牛肉生産基準認証番号

#### 2. 生産状況

##### (1) 処理頭数

##### (2) 放牧牛肉の来歴

個体識別番号	品種	性別	生年月日	放牧畜産実践牧場認証番号	放牧子牛生産基準認証番号	放牧肥育牛生産基準認証番号	備考

(注) 放牧肥育牛生産基準認証書等により、「放牧牛肉」としての条件具備を確認(認証書の写しを添付する)する。

##### (3) 牛肉生産

個体識別番号	屠殺月日	屠殺・解体場所	屠体重(kg)	枝肉重量(kg)	一次加工※(加工所名と処理量)	二次加工※※(加工所名と処理量)	備考

注: 枝肉出荷の場合は一次加工以下を省略できる。

※部分肉加工(部分肉の名称と処理量を記載する。)

※※スライス・パック加工(部位肉の名称と処理量を記載、二次加工がない場合は省略する。)

#### 3. 今年度の生産予定

##### (1) 処理頭数

##### (2) 放牧牛肉の来歴

個体識別番号	品種	性別	生年月日	放牧畜産実践牧場認証番号	放牧子牛生産基準認証番号	放牧肥育牛生産基準認証番号	備考

#### 4. その他の報告事項